

茨城県県民経済計算四半期速報（平成 11 年度第Ⅱ／4 半期）

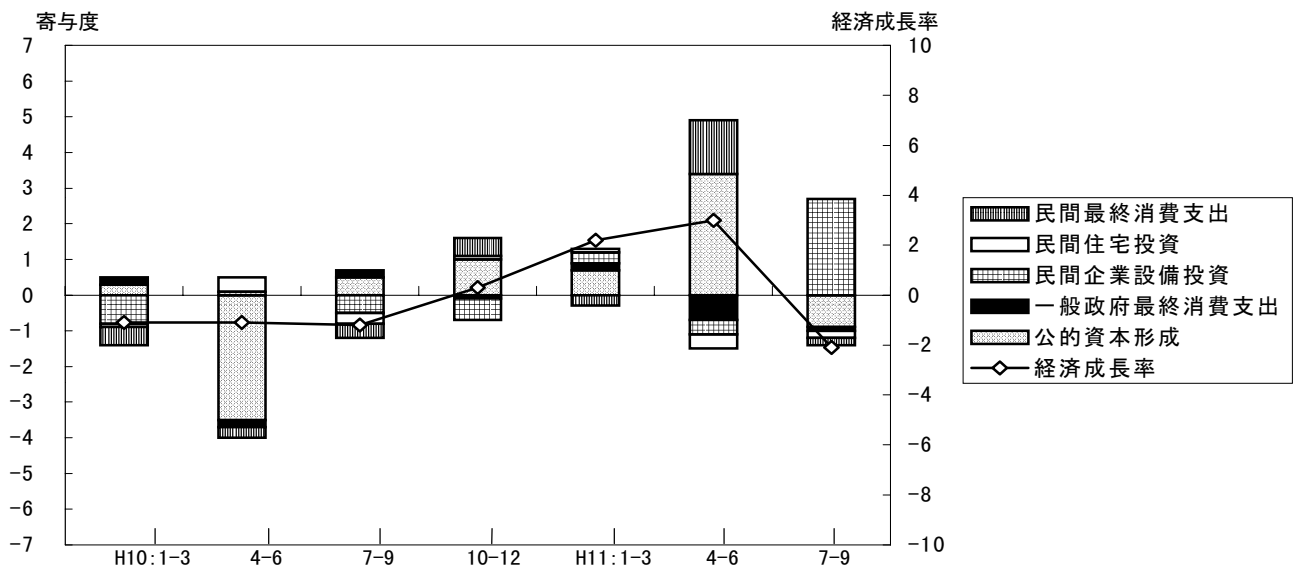
- ・平成 11 年度第Ⅱ／4 半期対前期経済成長率は△2.1%
- ・平成 11 年度第Ⅱ／4 半期対前年同期経済成長率はプラス 3.3%

平成 11 年度第Ⅱ／4 半期実質経済成長率は、マイナス 2.1%

茨城県における平成 11 年度第Ⅱ／4 半期の実質経済成長率は、民間設備投資が増加（プラス 20.1%）したものの、民間住宅投資（マイナス 6.6%）や、公的資本形成（マイナス 6.7%）が減少するなど、ほとんどの項目でマイナスになったため、対前期比でマイナス 2.1%となりました。

しかしながら、対前年同期比はプラス 3.3%となっており、必ずしも悲観的な状況とは言い切れないと考えられます。

項目別実質県内総支出増加寄与度（季節調整系列）



平成 10 年度県民経済計算：製造業の大幅減により、実質経済成長率はマイナス 2.5%

- ・平成 10 年度 1 人あたり県民所得は、3,046 千円（対国格差は 101.5）
- ・第 1 次産業プラス 3.1%，第 2 次産業△6.6%，第 3 次産業プラス 0.9%

平成 10 年度の県内総生産は、11 兆 819 億円で前年度比△2.5%減となりました。これは第 1 次産業が 3.1% 増、第 3 次産業が 0.9% 増となったものの、本県の主力産業である第 2 次産業が△6.6% 減となったことが大きな要因です。製造業は、前年度比△7.3% 減と前年度の 3.9% 増から大幅な減少に転じ、建設業も前年度比△3.4% 減と 2 年連続のマイナスとなりました。また、サービス業が前年度比 2.1% 増でした。この結果、産業別構成比は、第 1 次産業が 2.5%（対前年度比 0.2 ポイント増）、第 2 次産業が 43.2%（対前年度比 1.9 ポイント減）、第 3 次産業が 56.7%（対前年度比 1.9 ポイント増）となりました。

第 1 次産業の総生産は、2,741 億円で前年度比 3.1% 増となりました。これは、構成比の高い農業で、米が減少したものの、野菜が増加したためです。

第 2 次産業の総生産は、4 兆 7,922 億円で、前年度比△6.6% 減となりマイナスに転じました。これは、製造業で、製造品出荷額等が電気機械で前年から約 3,200 億円の減となったことなどにより、△5.6% と大幅な減少となったため、総生産が前年度比△7.3% 減となり、建設業でも産業用建築物の不調等により、総生産が前年度比△3.4% 減となったものです。

第 3 次産業の総生産は、6 兆 2,850 億円で前年度比 0.9% 増となりました。これは、不動産業で前年度比△2.8% 減、運輸・通信業で前年度比△5.8% 減とマイナスに転じたものの、電気・ガス・水道業で前年度比 10.7% 増、卸売・小売業で同 4.6% 増、金融・保険業で同 5.0% 増、サービス業で同 2.1% 増となったため、全体として 0.9% の増となったものです。

資料：県統計課